

輸入 A 型 B 型混合肝炎ワクチン接種説明と同意書

私は、患者_____様に対し、実施する下記ワクチンについて、次のように説明しました。

目的：A 型肝炎はアジア、アフリカ、中南米で流行している感染症です。A 型肝炎ウイルスに汚染された水や食物を介して経口感染します。潜伏期は 2～6 週間で、感冒様症状、発熱の後、食欲不振、倦怠感、腹痛、下痢、黄疸が起こります。命に係わることは稀ですが、療養に 1 ヶ月程度かかります。

B 型肝炎は世界中でみられ、感染経路は体液（主に血液）です。出産、輸血などの医療行為、性行為などで感染が広がります。急性肝炎の他、劇症肝炎、慢性肝炎や肝硬変、肝がんに進行することもあります。

A 型肝炎、B 型肝炎それぞれ国内で承認されたワクチンもありますが、この混合ワクチンは国内のものに比べ B 型肝炎の抗体が上がる率が高いことと、混合ワクチンのため両方の免疫をつけたい方の注射本数を押さえることができます。

使用ワクチン：Twinrix®（GlaxoSmithKline 社製）

接種方法：1 歳以上で接種可、3 回（初回接種後 1 が月後に 2 回目、6 ヶ月後 3 回目）筋肉注射

1 歳～15 歳 Twinrix Pediatric 1 回 0.5ml

16 歳～成人 Twinrix Adult 1 回 1.0ml

接種料金：12,000 円（税別）

有効性： 2～4 週後に抗体が上がり始める。

A 型肝炎：1 回接種後に 94%、3 回接種後に 100%。B 型肝炎：1 回接種後 70%、3 回接種後 99%

成人用ワクチンは 15 年以上、小児用ワクチンは 10 年以上効果が持続する。

副反応： 接種部位の発赤、腫脹や痛み、倦怠感、頭痛、乳幼児では不機嫌、傾眠など

ネオマイシンにアレルギーのある方、今までに A 型肝炎、B 型肝炎のワクチンでアナフィラキシーショックを起こした方には接種できません。

注意事項：輸入ワクチンのため、国内未承認です。副反応が生じた時は国の救済措置、補償が適応されません。輸入商社が提供する輸入ワクチン補償制度を利用できます。輸入ワクチン補償制度以外は当院では補償できません。

輸入ワクチン副作用被害救済補償制度について

輸入ワクチンによって重篤な副反応が起きた場合、補償金をお支払いする制度です。

制度の利用にあたり、裁判で輸入ワクチン接種による被害であることが認められる必要があります。

ご不明な点がありましたら予防接種センターの医師、看護師にお尋ねください。

____年 ____月 ____日

同意取得医：だいどうクリニック 予防接種センター _____

職員同席者

同席なし

だいどうクリニック院長 様

上記のとおり実施ワクチンの説明を受け、理解しましたので、その実施に同意します。

また同意書の控えを受け取りました。

____年 ____月 ____日

本人署名： _____ (印)

代諾者氏名： _____ (印)

(本人との関係： _____)